

令和7年度9月補正予算について

会計別予算規模及び補正予算の概要

- ・今回の補正予算は、一般会計及び国東自動車学校特別会計のほか6つの特別会計・公営企業会計です。
- ・一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出にそれぞれ4億2,875万9千円を追加し、補正後の予算額を**281億6,857万8千円**とするものであり、繰越金、普通交付税等の確定、4月人事異動に伴う人件費補正、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に伴う関係事業費の増額を主なものとして編成しており、主な補正内容は、以下の表のとおりです。
- ・特別会計における補正予算は、それぞれの特別会計において、繰越金の確定や繰入金等の補正による歳入予算の補正及び4月人事異動に伴う人件費及び事業推進に必要な経費の歳出予算の補正が主な理由です。

予算額の状況

(単位:千円、%)

区 分	令和7年度予算総額						備考
	当初予算額 (A)	前回までの補正額 (B)	現計予算額 (C) = (A) + (B)	9月補正額 (D)	9月補正後 予算額 (C) + (D)	増減率 (D) / (C)	
一般会計 ①	27,630,026	109,793	27,739,819	428,759	28,168,578	1.5	
特別会計 ②	8,536,317	0	8,536,317	113,253	8,649,570	1.3	
小計 (①+②)	36,166,343	109,793	36,276,136	542,012	36,818,148	1.5	
公営企業会計 ③	7,281,137	0	7,281,137	7,422	7,288,559	0.1	
合計 (①+②+③)	43,447,480	109,793	43,557,273	549,434	44,106,707	1.3	

※公営企業会計(水道事業、下水道事業、工業用水、市民病院会計)は、収益的(3条)支出予算額、資本的(4条)支出予算額の合計額を計上しています。

補正予算説明

◎ 一般会計補正予算(第2号)の主要事業

(単位:千円)

款番号及び名称	予算額	主な内容 <既決予算額+今回補正予算額=補正後予算額>
1 議会費	(172,989) 237 173,226	・議会費(人件費) < 40,513 + 237 = 40,750 > 【総務課】 4月の人事異動等に伴い人件費を増額します。
2 総務費	(4,278,981) 34,120 4,313,101	・財産管理費 < 150,246 + 1,275 = 151,521 > 【財政課】 テレビ放送の受信が可能な公用車の放送受信契約を結んでいなかったことから、NHK放送受信料の未払い分を増額します。 ・防災行政無線管理事業 < 136,226 + 4,563 = 140,789 > 【危機管理室】 本年度実施している防災行政無線の更新事業に合わせて、全国瞬時警報システム(Jアラート)を新型受信機に更新するため事業費を増額します。 ・木造住宅耐震化促進事業 < 4,440 + 3,000 = 7,440 > 【危機管理室】 申請件数が当初見込みよりも多くなることが見込まれることから補助金を増額します。 ・【高騰】 定額減税不足額給付金事業 < 40,400 + 59,700 = 100,100 > 【税務課】 ・【高騰】 定額減税不足額給付金事業(事務費) < 5,331 + 1,020 = 6,351 > 【税務課】 令和6年度に定額減税しきれなかった方に対する不足額給付金の追加給付対象者が当初見込み人数よりも多く見込まれることから、給付金及びそれに係る事務費を増額します。
3 民生費	(7,079,931) ▲2,493 7,077,438	・【高騰】 高齢者世帯等エアコン購入費補助事業 < 0 + 20,000 = 20,000 > 【福祉課】 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、自宅にエアコンの無い、65歳以上の高齢者世帯や身体障害者手帳1級または2級、療育手帳の交付を受けている方などの市民税非課税世帯に10万円を上限(補助率4/5)にエアコンを整備するため補助金を追加します。 ・障がい者総合支援給付事業 < 956,554 + 594 = 957,148 > 【福祉課】 障害福祉サービスの就労選択支援のサービスが拡充されたことから、システムを対応させるための改修経費を追加します。
4 衛生費	(2,499,404) ▲59,470 2,439,934	・【戦略】 予防接種(定期) < 152,945 + ▲16,434 = 136,511 > 【市民健康課】 新型コロナウイルスワクチン接種に対する自己負担額を2,000円から5,000円に引き上げたことから、それに係る委託料を見直したため減額します。

※予算額欄の上段()は既決予算額、中段は今回補正予算額、下段は補正後予算額です。

補正予算説明

◎ 一般会計補正予算(第2号)の主要事業

(単位:千円)

款番号及び名称		予算額	主な内容 <既決予算額+今回補正予算額=補正後予算額>
6	農林水産業費	(1,483,194) 18,355 1,501,549	・道の駅くにさき(夢咲茶屋)改修事業 < 0 + 11,963 = 11,963 > 【農政課】 道の駅くにさき(夢咲茶屋)は、建築から30年以上経過し、特にトイレについては、現在のニーズに適していないため、和式から洋式化する等の改修費用を追加します。 ・農業用排水施設整備事業 < 2,175 + 1,800 = 3,975 > 【農政課】 国東町浜地区のほ場において、雨水がほ場内に流入し、浸水することから県営事業により排水設備を整備するため大分県への負担金を追加します。今年度は、測量・設計等を予定しています。 ・有害鳥獣被害防止施設等復旧支援事業 < 4,081 + 4,525 = 8,606 > 【林業水産課】 令和6年台風10号により被害を受けた電気柵及び防護柵の復旧支援申請が当初見込みより多くあったことから、補助金を増額します。
7	商工費	(631,125) ▲2,886 628,239	・商工総務費(人件費) < 68,453 + ▲2,886 = 65,567 > 【総務課】 4月の人事異動等に伴い人件費を減額します。
8	土木費	(2,638,009) 33,753 2,671,762	・道路構造物定期点検事業(国庫補助金事業) < 82,500 + 20,000 = 102,500 > 【建設課】 橋梁・トンネルの定期点検結果に基づき、長寿命化修繕計画を更新するため事業費を増額します。 ・トンネル長寿命化事業(国庫補助金事業) < 116,000 + 24,000 = 140,000 > 【建設課】 定期点検の結果を基に策定した長寿命化修繕計画に沿って実施している老朽化したトンネルの修繕工事について、資材価格の高騰や人件費の上昇に対応するため事業費を増額します。 ・橋梁長寿命化事業(国庫補助金事業) < 286,200 + ▲20,000 = 266,200 > 【建設課】 補修工事を予定していた橋梁(1橋)の工法に見直しが必要となり、今年度の工事を見送ったことから工事費を減額します。
9	消防費	(979,414) ▲15,470 963,944	・常備消防費 < 55,109 + 1,189 = 56,298 > 【消防本部】 テレビ放送の受信が可能な公用車の放送受信契約を結んでいなかったことから、NHK放送受信料の未払い分を増額します。 ・消防団員安全装備品整備等助成事業 < 0 + 517 = 517 > 【消防本部】 消防団員等公務災害補償等共済基金の助成事業を活用し、消防団員の安全帽の更新及び携帯用投光器(キャップライト)を配備するため、それぞれ58個を購入する費用を追加します。

※予算額欄の上段()は既決予算額、中段は今回補正予算額、下段は補正後予算額です。

補正予算説明

◎ 一般会計補正予算(第2号)の主要事業

(単位:千円)

款番号及び名称		予算額	主な内容 <既決予算額+今回補正予算額=補正後予算額>
10	教育費	(2,967,416) 10,187 2,977,603	・事務局費(教育総務課) < 24,861 + 389 = 25,250 > 【教育総務課】 テレビ放送の受信が可能な公用車の放送受信契約を結んでいなかったことから、NHK放送受信料の未払い分を増額します。 ・国東中央公民館・アストホール等整備事業 < 43,740 + 22,000 = 65,740 > 【社会教育課】 本年度実施する空調設備更新工事において、当初予定していなかったフロン排出規制法等の新適合基準対応型のビル用マルチエアコンでの更新となったことから、冷媒配管も新基準に適合した配管に更新するため事業費を増額します。 ・図書購入寄附金事業 < 0 + 224 = 224 > 【図書館】 図書館の本の購入のために令和6年度に納付された寄附金を財源に図書を購入します。 ・【戦略】 六郷満山日本遺産推進事業 < 9,000 + 3,750 = 12,750 > 【文化財課】 豊後高田市と共同で設立している六郷満山日本遺産推進協議会にて、文化庁公募事業「日本遺産を活用した魅力ある地域づくり推進モデル事業」を活用し、インバウンドプログラムを開発するとともに日本遺産くにさきをPRするため事業費を増額します。
11	災害復旧費	(1,293,292) 70,316 1,363,608	・道路橋梁災害復旧事業 < 612,208 + 70,316 = 682,524 > 【建設課】 令和7年5月豪雨(5/21~22)により被災した道路(1箇所)を復旧するため事業費を増額します。
12	公債費	(2,793,530) 4,300 2,797,830	・短期資金調達事業 < 0 + 4,300 = 4,300 > 【会計課】 資金調達・資金運用戦略において、売り現先取引(買い戻しを条件に国債等の債権を一時的に証券会社に売ること)で資金を調達すること)を活用し、基金運用ができる現金を確保するため一時借入金利子を追加します。
13	諸支出金	(876,985) 337,810 1,214,795	・財政調整基金 < 3,793 + 337,000 = 340,793 > 【財政課】 地方財政法の規定により令和6年度一般会計の決算剰余金の2分の1以上の額を財政調整基金に積み立てます。

※予算額欄の上段()は既決予算額、中段は今回補正予算額、下段は補正後予算額です。

補正予算説明

○一般会計補正予算(第2号)の財源

(単位:千円)

款番号及び名称		予算額	主な内容 <既決予算額+今回予算補正額=補正後予算額>
10	地方特例交付金	(45,900) ▲356 45,544	・地方特例交付金< 10,393 + ▲356 = 10,037 >
11	地方交付税	(8,310,000) 432,707 8,742,707	・普通交付税< 7,660,000 + 432,707 = 8,092,707 >
15	国庫支出金	(2,962,922) 128,822 3,091,744	・河川等災害復旧費負担金(道路)< 210,510 + 46,690 = 257,200 > ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金< 146,832 + 78,040 = 224,872 > ・道路交通安全対策事業費補助金(橋梁長寿命化)< 154,819 + ▲10,807 = 144,012 > ・道路交通安全対策事業費補助金(道路構造物定期点検)< 36,600 + 12,240 = 48,840 > ・社会資本整備総合交付金(木造住宅耐震)< 1,830 + 1,150 = 2,980 >
16	県支出金	(2,107,385) 2,772 2,110,157	・有害鳥獣侵入防止柵復旧事業費補助金< 869 + 1,848 = 2,717 > ・木造住宅耐震化促進事業補助金< 1,284 + 924 = 2,208 >
19	繰入金	(2,794,335) ▲733,350 2,060,985	・財政調整基金繰入金< 1,496,917 + ▲736,239 = 760,678 > ・介護保険特別会計繰入金< 1 + 5 = 6 > ・地域振興基金繰入金(図書館費寄附金分)< 0 + 204 = 204 > ・ふるさと応援基金繰入金< 1,019,713 + 2,680 = 1,022,393 >

※予算額欄の上段()は既決予算額、中段は今回補正予算額、下段は補正後予算額です。

補正予算説明

○一般会計補正予算(第2号)の財源

(単位:千円)

款番号及び名称		予算額	主な内容 <既決予算額+今回予算補正額=補正後予算額>
20	繰越金	(200,000) 473,865 673,865	・繰越金 < 200,000 + 473,865 = 673,865 >
21	諸収入	(588,620) 43,799 632,419	・広域連合療養給付費負担金返還金< 0 + 88,228 = 88,228 > ・新型コロナワクチン接種助成金< 46,023 + ▲46,023 = 0 > ・消防団員安全装備品整備事業助成金< 0 + 516 = 516 > ・デジタル基盤改革支援事業費補助金< 0 + 1,078 = 1,078 >
22	市債	(4,109,400) 80,500 4,189,900	・合併特例事業債(道の駅くにさき(夢咲茶屋)改修事業)< 0 + 11,300 = 11,300 > ・合併特例事業債(トンネル長寿命化事業)< 54,700 + 22,300 = 77,000 > ・合併特例事業債(橋梁長寿命化事業)< 124,800 + ▲8,800 = 116,000 > ・過疎対策事業債(国東中央公民館・アストホール等整備事業)< 43,700 + 22,000 = 65,700 > ・現年発生補助災害復旧事業債(道路橋梁災害復旧事業)< 0 + 23,300 = 23,300 >

※予算額欄の上段()は既決予算額、中段は今回補正予算額、下段は補正後予算額です。